



広げよう たすけあいの輪

どりーまあ通信

● 第22号 2009年 12月発行 ●

◆特定非営利活動法人 どりーまあサービス◆

〒770-0866
徳島市末広2丁目1番80号
TEL 088-626-3237 FAX 088-611-7035
U R L : <http://dreamer-service.org>
E-mail : npo@dreamer-service.org
発行責任者 山口 浩志

変革の時代を生きる



理事長 山口 浩志

民主党政権に交代してから早や3ヶ月が経とうとしております。私たちの暮らしはどこを向いて走っているのでしょうか。

今、看護や介護の分野では慢性的な人材不足が問題となっており、国の方では、介護職の社会的認知がまだまだ低く、待遇改善をする必要があるとの事で、「介護職員処遇改善交付金」が制度化されました。しかし、申請は全体の約7割くらいしかないようです。

私たちが現場から考えねばならない事は、「夢のある仕事」になっているかどうかです。「福祉の仕事はしたいんだけど...?」とか、「これからの福祉はどうも...?」などという声をよく耳にします。そこで私たちが考えねばならないことは、誰しも新しいことをする前には必ずうまくやろうとして躊躇してしまいがちなのですが、どんな時でも失敗を恐れずに取り組もうという姿勢を発信し続けることでしょう。

米国の不動産王ドナルド・トランプは、「まず始めに最悪の状況を設定せよ、次に最高のプラス思考でのぞめ!」と言います。

私たちはこれからたすけあい運動を続けていくためにも、失敗を恐れず、未来への新しい夢に向かって進んでまいります。

今後ともご指導・ご協力のほどよろしくお願いいたします。



NPO 法人 TOKUSHIMA 雪花菜工房

理事長 殿谷明日香

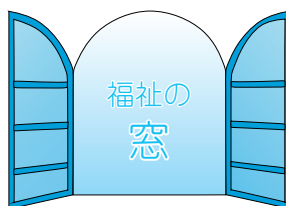
特定非営利活動法人TOKUSHIMA雪花菜(おから)工房は、平成20年5月に設立しました。メンバーは、徳島県立小松島西高校TOKUSHIMA雪花菜工房卒業生を中心に活動しています。小松島西高校TOKUSHIMA雪花菜工房は、起業家教育の授業の一環である課題研究「ニュービジネス」から生



左から、森千紗さん、殿谷明日香さん、岡本絵美さん

まれた模擬会社で、雪花菜アイスをはじめ、様々な商品を開発し、地域活性化に寄与する活動を行っています。また、徳島をPRするための旅行企画やイベントのプロデュース、小松島西高校独自の認証システムなど文部科学省指定のスーパー専門高校としてキャリア教育日本一を目指しています。

NPO法人TOKUSHIMA雪花菜工房では、雪花菜アイスなどの高校生開発商品や徳島県の産物を広める活動、環境啓発活動、地域コミュニケーション形成の推進などを行っています。昨年は、経済産業省から「にっぽんe物産市 地域エージェンツ」の指定を受け、現在もそのネットワークを活用し、す



だちやゆず、阿波赤牛など徳島県の様々な良いものを広める活動を行っています。主力商品である雪花菜アイスは、徳島県物産協会より、特選阿波の逸品に認定されました。さらに、今年の7月には、経済産業省「ものづくり日本大賞」の青少年支援の部で優秀賞を受賞できました。

これまでの経験を生かし、現状に甘んじることなく、これからも地域や企業・団体と連携させていただきながら、徳島のPRに役立てる活動を続けてまいります。

お問い合わせ

電話 (088) 671-5180
FAX (088) 602-0533

新しいスタッフを紹介します

今年度の新人職員を紹介するコーナーです。

新しいスタッフの加入は、フレッシュな息吹きとなり、周囲を活性化してくれます。

彼女たちのこれからの抱負を聞いてみました。



どりーま あ 訪問看護
ステーション
小針 節子

11月から新しく訪問看護師として働かせていただいております小針（こばり）です。皆様、よろしくお願ひいたします。昨年まで9年間病院で看護師として働いておりました。訪問看護師になるのは私の数年前からの夢でした。病院で働く中で、退院前の患者様や、入退院を

寄り添い

訪問看護を始めて7ヶ月が経ちました。病院での看護と違い生活の場に入らせていただき戸惑うこともありましたが、利用者様に温かく受け入れていただき多くの学びを得ることができています。訪問時は利用者様と1対1で充実した看護を提供できますし、在宅で最良の生活が出来るよう関わるスタッフと話し合いながら看護を進められるのでとてもやりがいや充実感があります。

「利用者さんにとって最善の看護が目標です！」

す。難病・小児・緩和ケアなどさまざまな症例があり、日々勉強していかなければいけないと思います。また今年9月には東京でのターミナルケア研修に参加させていただき新たな学びを得て現場での看護に役立てることができています。これからも利用者様の心に寄り添い最良の看護が提供できるような頑張っていきたいと思ひます。



どりーま あ 訪問看護ステーション

伊月さくら



初心

訪問看護は

私の夢でした」

が、利用者様やご家族の声を大切に、在宅で安全に快適に過ごしていただくお手伝いをさせていただきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひいたします。

繰り返す患者様とかかわる中で、医療の連携の重要性や、在宅看護・介護の必要性を強く感じるようになりました。新しいスタートをきったばかりです。

献心

事務員として入社し、早くも半年が過ぎました。介護事業というのは社会的に大きな役割があるという事は分かっていました。しかし、どこか他人事の様思っていました。この半年間で、色々とおことがありました。利用者さんの立場にたつて、プランを考え、サービスを提供する、その内容は当たり前ですが個々で違い、求められる事も違ひます。



事務局
棚野望起子

棚野望起子

「笑顔の絶えない雰囲気づくりを心がけています。」

現場で大変な仕事をされているスタッフたちとは違い、事務所でいる為直接利用者さんのお顔をみる事は少ないですが、お会いした時には笑顔で話しかけるよう心がけていきます。また、電話の応対でも何を求められているかを考え、迅速に判断できるように努めていきます。これからも、どりーまあの一員として自覚と誇りをもち仕事に励みます。

小地域交流サロン普及事業

(徳島県委託：介護予防普及啓発事業)

互助

私達担当者は、自らの脚で富田の街を歩くことにより、地域を肌で感じ、多くの人々との出会いの中で励まされたり、笑顔をもたらしたりする毎日です。笑いあり涙ありのサロン立ち上げ準備期間を2ヶ月経て、ついに場所とサロンに賛同してくださる方々に

どりーまあの新しいチャレンジとして、小地域交流サロン普及事業が県の委託の下、平成21年9月より発足しました。サロンの目的は、地域の高齢者の方々が互いに親睦を深め、健康や生きがいを求めながら、様々な活動を自らの手で運営していくことで、介護予防への取り組みとするものです。

記念すべき第1号のサロンは、11月、徳島市富田地区にて誕生しました。眉山のすそ野に広がる歴史あふれる閑静な街並みと徳島随一の煌びやかな繁華街が同居する変化に富んだ魅力的な地域です。

本年6月初旬に県ホームページで介護予防普及啓発事業の企画提案募集があり、応募したところ、採択していただきました。事業企画名は「小地域交流サロン事業」です。

本事業に2名の専門スタッフが取り組んでおります。まだまだ走り始めたばかりな状況ですが、彼女たちの紹介も兼ねて、奮闘ぶりをご紹介させていただきます。

STAFF

はじめまして。地域交流サロン担当の久米里織です。今までは歯科医師として、患者様の口腔を中心とした病気のお顔に接することが多かったのですが、当部署では、地域の方とお付き合いの中で、生活全般での多彩な表情に触れさせていただいております。

サロンの仕事は、3歩進んで2歩下がる、笑いあり涙ありの毎日ですが、相棒や他部署の皆様の温かい励ましを頂きながら頑張っています。よろしくお願いします。

歯科医師 久米 里織

小地域でのサロン事業を県内に発信する!!

チャレンジ



STAFF

本年9月より地域交流サロン事業を担当させていただいている青山美穂です。高齢者介護に携わって11年、施設内の勤務が長かったのですが、この度、地域の方とお付き合いさせて頂くなかで、新たな発見や感動を味わわせていただいています。

サロン事業では戸惑うこともある初心者ですが、笑顔を忘れず、地域の方々に信頼され、地域に根付き発展するサロンのコーディネーターとなれるよう頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いします。

介護福祉士 青山 美穂

出会え、開催に漕ぎつけることができました。

第1回目のサロンは初顔合わせの皆さん、少々緊張の面持ちの中スタートしました。しかし、それも束の間。すぐに打ち解け合い互いの会話が弾んだものでした。自己紹介から始まりサロンに対する思いなどを語り合った茶話会、健康教室として興味深くお聴き頂いた「お口の中の悩み相談室」、楽しく盛り上がったゲーム大会等、楽しい時間を過ごせたとの感想を頂きました。

今後もサロンが地域の皆様のほっとする場所になれるよう、参加することがいきがいたくなるような内容を目指して頑張ります。皆様の応援よろしくお願いします。

研修レポート

業務を進める中において、自分たちだけの殻に閉じこもるのではなく、常に大海をみて自らの位置を確かめる必要があります。

外部研修に参加することで多くの学びや在宅での新たなチャンスを見つけるきっかけともなると考えます。

ここでは、これまで参加した内容をご報告させていただきます。

退院調整看護師養成研修 (於：新梅田研修センター)

8月28日～
8月29日

退院調整看護師
養成研修を終えて

平成21年8月28・29日の2日間、新梅田研修センターに行かせていただきました。

現在、高齢化社会となり、国は今後4人に1人は在宅での見取りをむかえられるようにと考えているそうです。今回北海道から鹿児島と約120人の方が全国から来られており、参加者は、病棟看護師・地域連携室勤務の方・実際に退院調整をさ

どリーまあ訪問看護

ステーション

大串 亜紀



れている方がほとんどで、教職員の方が1名・訪問看護師はわずかでしたが、注目度の高い研修であることを実感しました。看護師が行う退院調整とは、患者さんが入院された日から行われています。医療処置が必要・癌や難病である・ADLが低下し、自立した生活に戻れないと沢山の不安があります。入院している環境を知り、医師・MSW・家族との連携をはかり、不安を軽減し退院後の生活がイメージでき安心が持てる様に整えていくことが大切であると学びました。



6月13日



どリーまあ訪問看護

ステーション

所長 中野 操

去る6月13日に全国訪問看護事業協会主催で「新任管理者研修会」に参加してまいりました。研修目的としては、訪問看護に関わる諸制度と取り巻く状況を理解し訪問看護ステーション管理の概要や管理者の役割、そして管理業務の実務を理解することでした。内容は、厚生労働省老健局介護予防対策専門官である八田睦美氏から「訪問看護ステーションに関

管理者研修に参加して

会場は管理者3～4ヶ月目の新任管理者さんたち約120名の参加があり、どの方も訪問看護のやりがいや難しさを実感されていました。同じ悩みをもつ人たちの交流は今の私にとっては大きな励みとなり、これから歩むべき道しるべともなりました。

本研修で学んだ、他職種との連携やス

新任管理者研修会

(於：大阪 OCMA ホール)

スタッフ間のチームワーク、また利用者さんの把握等々、色々な場面で見判断ができ、スタッフたちとやりがいをもつケアに取り組んでいきたいと思えます。



10月9日～
10月10日



どりーまあ訪問看護

ステーション

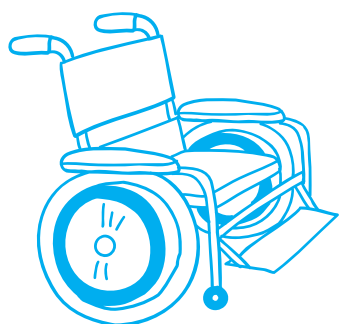
伊月さくら

ターミナルケア研修に参加して

平成21年10月9・10日に東京都品川区人事労務会館にて研修を受けてきました。在宅緩和ケ

アの考え方でホスピスとは建物ではなく哲学であるという考え方であり、在宅でも施設でも継続したケアができるという学びました。現在緩和ケアは治る・治らないで区別せず病気の早い段階から適応されます。看護師は早い段階で苦痛を緩和するため関わっていかねばならないと思います。ターミナルケアのプロセスとケアの実際はターミナルステージによって本人・家族へのケアが変わってくるので利用者様が今どのステージにいるのかを適切にアセスメントしてケアしていくことが大切です。そしてケアの内容は本人が決めるものであり、決して医療者側の思い込みでケアをしてはいけないことに気付かせていただきました。今回の研修でターミナルケアの基本から学ばせていただく場を得た今、常に利用者様や家族の気持ちに寄り添いながら最良の看護が提供できるように努めていきたいと思えます。

テーマ
ターミナルケア
(於：人事労務会館)



研修レポート

10月30日

BCP (事業継続計画) セミナー

BCP (事業継続計画)とは、企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、

平常時に行うべき活動や方法、手段などを決めておく計画の事です。聞く事により、事業を早期復旧することの意味と、災害に備える計画の大切さがわかりました。

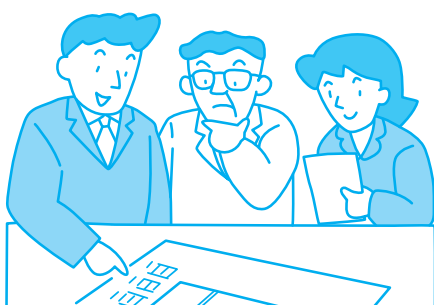
事業継続計画を多くの企業が導入し、緊急事態に備えるという事は地域全体の早期の復旧に繋がると強く感じました。

どりーまあサービス

統括部長 脇川 玄



平成7年におきた阪神大震災や新型インフルエンザの流行など、緊急事態は突然発生します。その時有効な手を打つことができれば、特に中小企業は廃業に追い込まれるおそれがあります。事業を縮小し従業員を解雇しなければならぬ状況も考えられます。



このセミナーで阪神大震災時の中小企業が受けた影響を

8月27日

民間看護・介護事業所 合同研修会

テーマ

認知症の評価と リハビリテーション

講師

うぐいすりハビリ研究所

鶯 春夫 先生

「きのうの晩ごはん何でしたか、その前は」の質問から始まった研修会、少し緊張しながらも、いつの間にか先生のお話しに引き込まれていきました。

認知症の問題行動には、その人なりの理由があり生活の中に原因があることが多く、いちばんしてはいけないのは問題行動を無理に制御することだと、先生ご自身のお祖母さんを例に話してくれました。利用者さんに対して、自分の身内だったらと考えることが大切で、周りの

対応で良くも悪くもなるということがよくわかりました。

相手を知る努力をし説得よりも納得をいつも心に留めて、リハビリも一方的な押し付けではなく自らがやる気を持って立ち向かえるように目標を共有し、次への自信につなげるかわりが重要で、楽しみや目的がみつかるように、その人に合わせて対応することが大切だと思いました。

介護を担われているご家族の揺れ動く気持ちに寄り添い、介護者自身の健康管理や休息の必要性を説明し、利用者さんによい表情になってもらえることを目標にしたいとあらためて思いました。

(ヘルパーステーションたすけあい
介護福祉士 平土 晴美)



学 び 舎

11月18日

講師

パシフィックサプライ株式会社
川端 倫也 氏

難病疾患の中でも最も過酷といわれる疾患に、ALS（筋萎縮症側索硬化症）がありますが、私たち「ヘルパーステーションたすけあい」は、4名の患者さんの支援にかかわらせていただいております。そのうち3名の方が在宅人工呼吸器を使用されています。

人工呼吸器によって呼吸は確保されますが、本人の「声」が奪われてしまいます。そこで意志伝達装置などによってコミュニケーションの道が開けます。様々な機器の中でも「伝の心」という機器があります。この度メーカーの方に広島からお越しいただき学ぶ機会が設けられたため、事業所の垣根を越えて患者さんに

「コミュニケーション支援機器
「伝の心」を知る」

かわかる看護・介護、またデバイスまでのスタッフが集まり、機器の種類やしくみ・操作の方法等を学習いたしました。

本機器を呼吸器をつけた患者さんが使いこなすには、かなりハードルが高く困難なことが予測されます。少しでも患者さんに寄り添った支援が提供できるよう、前向きにチャレンジしていきたいと思っています。

(ヘルパーステーション
管理者 山口 浩子)





テーマ

「利用者満足100%の連携医療を目指して」

人をつなぐ医療と介護の連携

今年で6回目となる本セミナーですが、この度は講師として香川県介護支援専門員協会会長である大原昌樹先生(綾川町国民健康保険陶病院院長)をお迎えし、約120名の参加者がありました。またこれまで以上に県内の多くのケアマネージャーの方々の参加があったようです。

まず始めに、県立中央

各方面からのご依頼で講演やシンポジウムの中で発表させていただいております。本紙面でそのいくつかをご紹介します。

発表テーマ

ケアマネージャーの立場から
「地域もいろいろ連携もいろいろ
～公助・共助・自助を考える」

病院院長・永井雅巳先生が座長で、大原先生の基調講演があり、医師としてだけでなく、協会会長としての熱い思いと実践の話を聞くことができました。

続いて、本県からの意見発表があり、県介護支援専門員協会理事の立場で山口が、地域に密着したサービス展開の実践報告をさせていただきました。他発表者として、医師としての立場で県医師会副会長である大塚明廣先生、急性期医療の立場から県立中央病院地域連携室師長である中西敬子氏、療養病床で相談支援にかかわられている協立病院地域連携室の菊山敦史氏、神山町地域包括支援センター所長である川野公江氏(保健師)など、それぞれの立場か

ら幅広い活動報告がありました。その後、シンポジウム形式で、県立中央病院地域医療センター鎌村好孝先生と県看護協会訪問看護ステーション所長である長谷康子氏を座長として、シンポジウムが行われました。立場や業務に違いこそあれ、利用者への切れ目ないサービスを実現するためにも、これからもより密に「連携」していかなければならない事が再認識できた一日でした。

講演

利用者とのコミュニケーション
～専門職間で意見交換～

推進

吉野川市管内

ケアマネ・ヘルパー事業所

交流研修会

ケアマネージャーとヘルパーとの連携のあり方は、ご利用者の生活支援を支える要であることは語るまでもありませんが、いつも完璧に連携がとれているというところでもないのも事実です。現場ではそれぞれの思いが行き違ったりずれたりする事もあります。

そこで吉野川市地域包括支援センター主催で、同市管内で援助している事業所のリーダーを集めて、これから支援していく上で基本的視点に戻る場を企画され、県介護支援専門員協会の立場から、山口より、「コミュニケーションの本質」について発表させていただきました。

その後、グループディス



セッションでは、それぞれの立場で困っていることや、また普段困った時に相談を誰にしているのか、自分はどういった人からどんな相談を受けているか、などについて意見交換しました。グループからは具体的事例がたくさん上げられ、いろんな角度からの対応策も検討されました。本セミナーを通して、どんな時でも一人で解決しようとするのではなく、「サービス担当者会議」などを活用し、チームとして取り組んでいくことの大切さを改めて学ばせていただきました。

活動報告

対外活動

- 5/1 社会福祉士会相談活動委員会（於：どりーまあ事務所）
- 5/18 徳島連携医療「うずの会」世話人会
- 5/12 社会福祉士会理事会（於：県立総合福祉センター）
県立中央病院看護課訪問看護実習（5/28までの間に3名来訪）
- 5/14 緩和ケア研究会世話人会
- 5/18 介護支援専門員協会運営委員会（於：どりーまあ事務所）
- 5/21 社会福祉士会理事会（於：県立総合福祉センター）
- 5/24 社会福祉士会総会（於：県立総合福祉センター）
- 5/25 介護支援専門員協会委員会総会（於：論田病院）
- 5/31 介護支援専門員協会総会及び記念講演（於：アスティー徳島）
内容：「緩和ケアの基本を学ぶ」 講師：寺嶋吉保先生、上原康三先生
徳島法人会交流会
- 6/5 社会福祉士会理事会（於：県立総合福祉センター 山口参加）
- 6/7 西富田地区児童民生委員定例会（於：西富田コミュニティーセンター 山口参加）
- 6/24 沖洲地区児童民生委員定例会（於：沖洲コミュニティーセンター 山口参加）
- 6/25 社会福祉士会理事会（於：県立総合福祉センター）
- 7/2 徳島緩和ケア研究会セミナー打ち合わせ（於：徳島大学病院）
- 7/13 八万地区児童民生委員定例会（於：八万コミュニティーセンター 山口参加）
- 7/17 西富田老人会クラブ月例会（於：西富田コミュニティーセンター 山口参加）
- 7/23 社会福祉士会理事会（於：県立総合福祉センター 山口参加）
- 7/31 介護支援専門員協会委員会総会（於：県立総合福祉センター 山口参加）
- 8/1 福祉・看護就職ガイダンス（於：ホテルクレメント徳島 山口参加）
- 8/5 徳島市老人クラブ連合会会長会（於：徳島市社会福祉センター 山口参加）
- 8/22 介護支援専門員協会「居宅管理者の集い」（於：県立総合福祉センター 山口参加）
- 9/3 介護支援専門員協会運営委員会議（於：どりーまあ事務所）
- 9/6 一般社団法人社会福祉士会 設立記念総会（於：県立総合福祉センター）
- 9/17 渭北独居老人食事会「あじさい会」参加（於：ルネッサンス鴨門）
- 10/9 徳島連携医療「うずの会」世話人会（於：県立中央病院 山口参加）
- 10/10 介護支援専門員協会 オープン相談会（於：蓬萊荘）
- 10/12 高次脳機能障害家族役員会（於：障害者プラザ 山口参加）
- 10/15 高次脳機能障害研修会（於：徳島保健所 山口参加）
- 10/17 緩和ケア研究会「市民講座」（於：徳島大学病院 山口参加）
- 10/20 社会福祉士会相談活動委員会議（於：どりーまあ事務所）
- 10/21 介護支援専門員協会運営委員会議（どりーまあ事務所）
- 10/22 社会福祉士会理事会（於：県立総合福祉センター）
- 11/1 介護支援専門員協会運営委員会主催 ケアマネ初任者研修会
「～サービス担当者会議について学ぶ～」（於：県立総合福祉センター 山口参加）
- 11/6 介護基礎研修終了式及び就職説明会（於：ふれあい健康館 山口参加）
- 11/6 徳島連携医療「うずの会」世話人会（於：県立中央病院 山口参加）
- 11/8 高次脳機能障害家族会記念講演会
- 11/25 徳島市地域包括支援センター運営協議会（於：徳島市医師会館 山口参加）
- 11/26 社会福祉士会理事会（於：県立総合福祉センター）
- 11/30 社会福祉医療機構助成金審査会（於：センチュリープラザホテル 山口参加）
- 12/10 がん診療連携協議会（於：県立中央病院 山口参加）

内部研修

- 5/20 ホームページ委員会（於：どりーまあ事務所）
- 5/26 職員研修会（於：県民プラザ 講師：（重症ケア認定看護師） 藤田昌子先生）
内容：「呼吸アセスメントの実際～フィジカルアセスメントと人工呼吸ケア～」
- 5/30 定期職員研修会（於：どりーまあデイサービスホール）
内容：「介護計画と記録」 講師：山口浩志
- 6/11 ○事務局員勉強会「接遇セミナー」
講師：カラーコーディネーター 福永由里子先生
○民間看護・介護事業所合同研修会
「緩和ケアの理解 ～終末期を支える援助～」
講師：（がん疼痛認定看護師） 細井順子先生
- 7/16 ○事務局員勉強会「マナー研修」
講師 カラーコーディネーター福永由里子先生
- 8/27 民間看護・介護事業所合同研修会「認知症評価とリハビリテーション」
講師：鸛春夫先生（於：ふれあい健康館）
- 9/26 定期職員研修会「入退院時のアセスメントについて」（伝達講習と事例研究）
①訪問看護大阪研修報告（大串看護師）
②入退院アセスメントの実践的取り組み（報告：山野ケアマネ 関本看護師）
- 9/30 情報の公表 調査（調査員2名 来訪）
- 10/5 情報公表反省ミーティング（介護部門）
- 10/14 情報公表反省ミーティング（ケアマネ部門・看護部門）
- 10/31 定期職員研修会「伝達講習と事例研究」
①ヒヤリ・ハット報告と対策（松本ヘルパー）
②ターミナルケア研修報告（伊月看護師）
③マネリ化防く取り組み（湊川ケアマネ）
- 11/18 コミュニケーション支援機器「伝の心」講習会（於：県民活動プラザ）

外部研修

- 5/16 訪問看護新任従事者研修会（於：新梅田研修センター 大串参加）
- 5/16 県在宅医療療養セミナー（於：徳島県医師会館 伊月参加）
- 5/16 口腔ケアを効果的に行うために（於：県立中央病院 湊川参加）
- 5/22 呼吸器勉強会（於：徳島市医師会館 ファジレスピロニクス担当者からの説明会）
- 5/23 フィジカルアセスメント研修（於：新梅田研修センター 関本参加）
- 5/24 緩和ケア研究会総会及び記念講演会（於：県立中央病院）
講演：「苦しむ患者さんから逃げない！」（めぐみ在宅クリニック小澤竹俊先生）
- 5/25 がんセミナー「がん終末期症状の対処の実際」（於：徳島県医師会館 大串・関本参加）

6/12～7/5

- 在宅ターミナル研修（於：県看護会館 森参加）
- 6/13 新任管理者研修会（於：大阪 OOMA ホール 中野参加）
- 6/24 評価調査員研修会（於：アスティー徳島 山口参加）
- 7/22 とくぎんサクセスクラブ経営セミナー（ホテルクレメント徳島 山口参加）
- 7/25 高次脳機能障害家族会勉強会（山口参加）
「日本脳外傷友の会の活動報告 ～家族と一緒に聞いて頑張りましょう～」
講師：NPO 法人日本脳外傷友の会理事長 東川悦子氏
- 8/7 あわぎんビジネスカレッジ（於：ホテルクレメント徳島 山口参加）
- 8/28～29 退院調整看護師養成研修会（全国訪問看護事業協会主催）
「退院支援（調整）とチームマネジメント」（於：新梅田研修センター 大串参加）
- 9/12 介護支援専門員協会特別講演会「介護報酬改訂から求められる介護支援専門員の役割」
講師：厚生労働省 遠藤征也先生（於：博愛記念病院 脇川・湊川・山野参加）
- 9/13 徳島市医師会セミナー
「終末期がん患者さんの緩和ケア」（於：徳島市医師会館 山口・中野・伊月参加）
- 10/3 緩和ケア研究会「市民講座」参加（於：徳島大学病院 山口参加）
職能支部合同研修会「看護師の雇用創出」（於：県看護会館 中野参加）
- 10/9～10/10 ターミナル研修（全国訪問看護事業協会主催）
「訪問看護師が支える在宅ターミナルケア」（於：東京人事労務会館 伊月参加）
- 10/10 県民がん啓発講演会「島根県「がん患者サロン」の活動」 講師：佐藤愛子氏
- 10/10 リレーフォーライフ（山口参加）
- 10/15 介護現場における感染管理について（於：ふれあい健康館 関本参加）
- 10/23 医療相談支援センター講習会「癌と栄養」（於：徳島赤十字病院 脇川参加）
- 10/30 BPC（事業継続計画）セミナー（於：徳島グランヴィリオホテル 脇川参加）

講義

- 5/21 難病ホームヘルパー講義（於：介護労働安定センター）
- 5/21 徳島大学「ボランティア論」講義
- 5/28 徳島大学「ボランティア論」講義
- 5/27 全身体験ヘルパー講義（於：介護労働安定センター 山口参加）
- 8/6 徳島大学総合科学部「ボランティア論」講義（山口参加）
- 8/19 介護基礎研修講義（於：ふれあい健康館 山口参加）
- 8/26 介護基礎研修講義（於：ふれあい健康館 山口参加）
- 9/26 介護基礎研修講義（於：ふれあい健康館 山口参加）

講演

- 10/18 第6回医療連携担当者ネットワークミーティング
「利用者満足100%の連携医療を目指して」（意見発表・シンポジウム 山口参加）
- 11/18 吉野川市地域包括支援センター主催 管内事業所交流セミナー講演
「利用者とのコミュニケーション ～基本概念を学ぶ～」（於：吉野川市役所 山口参加）

小地域交流サロン

- 8/25 第1回事業検討委員会（於：県民活動プラザ）
- 9/24 第2回事業検討委員会（於：どりーまあ事務所）
- 10/22 美馬市サロン見学（井口地区・東荒川地区）
- 10/28 第3回事業検討委員会（於：どりーまあ事務所）
- 11/5 第1回サロン開催（於：西富田コミュニティーセンター）
- 11/25 第2回サロン開催（於：フリーゾーン大道）
- 11/27 サロン事業検討委員会（於：どりーまあ事務所）

その他

- 6/6 清掃奉仕作業（職員有志で事務所近辺の清掃奉仕）
- 6/6 末広町内会会合（於：末広神社社務所）
- 7/3 末広町内会会合（於：どりーまあ事務所）
- 8/1 清掃奉仕作業（職員有志で事務所近辺の清掃奉仕）
- 8/17 介護職員処遇改善交付金説明会（於：板野町総合教育センター 山口参加）
- 8/25 小地域交流サロン普及事業 事業検討委員会（於：県民活動プラザ）
- 10/3 清掃奉仕作業（職員有志で事務所近辺の清掃奉仕）
- 10/29 デイサービス「夢ハウス」延べ利用者数1,000人達成記念式
- 10/30 末広町内会議（於：どりーまあ事務所）

理事会

- 6/10 法人理事会（於：どりーまあ事務所）
- 12/22 法人理事会（於：どりーまあ事務所）

ミーティング及び会議実施状況

- 居宅：ケアマネミーティング（月曜日、9：30～10：30）
各種市町村研修（随時）
- 看護：定期ミーティング（火曜日9：00～10：00、水曜日17：00～18：00）
看護運営会議（月1回、ステーション運営に関する課題を出し合う）
- デイサービス：全体ミーティング（水曜日、8：15～8：45）
- サロン：企画会議（木曜日）
- 介護：ヘルパーミーティング（金曜日、8：30・12：30・17：00）
リーダーヘルパー会議（第3土曜日、8：30～9：30）

その他

- どりーまあ運営会議（月1回、各部門間土士の連絡会議）
- 事務ミーティング（月1回、事務スタッフ間の連絡会議及びレセプト会議）
- 定期研修会（月1回、年間研修計画に添った内容）
- 体操教室ミーティング（月1回、元気高齢者づくり事業のスタッフ連絡会議）
- 会計ミーティング（月1回、顧問会計士先生からの指導）